



POWER SUPPLY INSTALLATION

取り扱い説明書

弊社電源ユニットをご利用頂き、誠に有難う御座います。弊社電源ユニットを取り付ける前に、お使いのパソコンケース、マザーボードの説明書を併せてご覧になったうえで、この取り扱い説明書をお読みになり正しく接続して下さい。

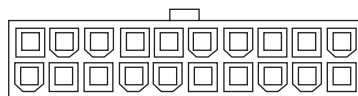
※全てのコネクタは無理に挿し込まない限り、間違った方向では挿し込みが出来ないようになっていますが、互換性のあるデバイスについては簡単に接続できるように設計をされています。取り付けの際は、ケーブルの種類、コネクタの向きが正しい方向に挿されているかを確認しながら行ってください。

ATXメイン(20+4ピン)

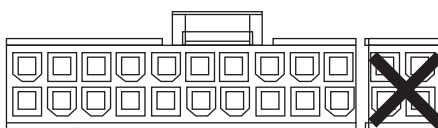
マザーボードにATXメインケーブルを挿し込んで下さい。

ケーブルが分割しますので、20ピン及び24ピンマザーボードに対応出来ます。

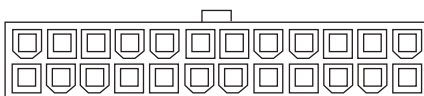
※20ピン対応マザーボード使用時は、分割時の4ピンケーブルを使用しないで下さい。他の場所に挿し込みますと機器が破損する恐れがありますのでご注意下さい。



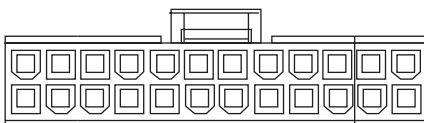
ATXメインコネクタ



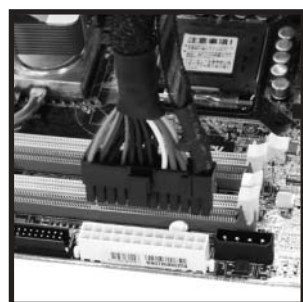
ATXメイン(20ピンのみ使用)



ATXメインコネクタ



ATXメイン(20+4ピン)



ATX12V(4ピン)&EPS12V(4+4ピン)

マザーボードにATX12V、EPS12Vケーブルを挿し込んで下さい

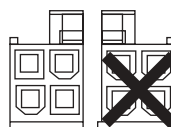
ATX12V対応マザーボードを使用する際は、コネクタを分割して4ピンのみを使用します。

EPS12V対応マザーボードを使用する際は、コネクタを分割せず使用して下さい、

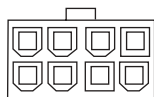
※グラフィックスボード(PCI-E)へ挿し込みますと、グラフィックスボードが破損する恐れがありますのでご注意下さい。



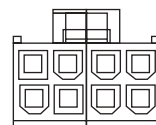
ATX12V
コネクタ



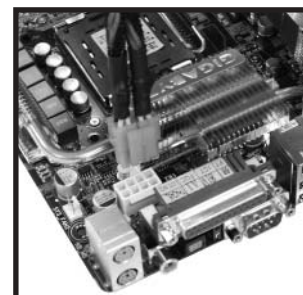
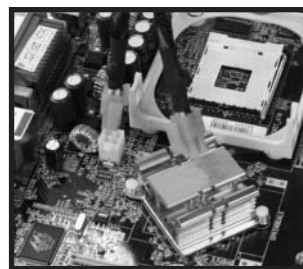
ATX12V(4ピンのみ使用)



EPS12V
コネクタ



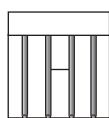
EPS12V(4+4ピン)



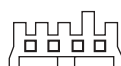
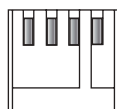
FDD POWER

FDD(フロッピードライブ)用電源コネクタ搭載機器にFDD Powerケーブルを挿し込んで下さい。

※逆挿しやピンがずれた状態での接続をしないように気を付けて下さい。機器が破損する恐れがありますのでご注意下さい。



FDD Power
コネクタ



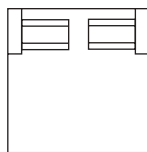


IDE&S-ATA

IDE、Serial ATA機器(HDDやCD-ROMドライブ等)にドライブケーブル、Serial ATAケーブルを挿し込んで下さい。



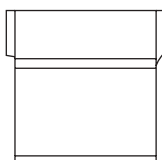
ドライブコネクタ



ペリフェラル4ピンコネクタ



ドライブコネクタ



Serial-ATAコネクタ



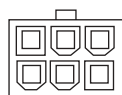
グラフィックスボード(PCI-E)

PCI-EグラフィックスボードにPCI-Eケーブルを挿し込んで下さい。

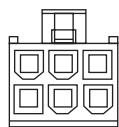
※ボードの種類によっては、グラフィックボード電源コネクタが8ピンの物や、コネクタ自体が無い物があります。

※SLI及びCrossFire使用時は、ケーブルを2本使用して下さい。

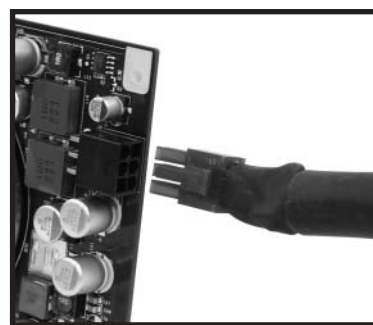
※マザーボードのATX12Vコネクタ、EPS12Vコネクタには挿し込まないで下さい。マザーボードが破損する恐れがありますのでご注意下さい。



グラフィックボード電源コネクタ



PCI-E

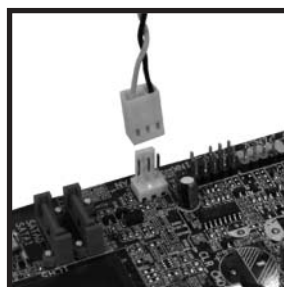


電源搭載ファン及びインテリジェントファンコネクタ

電源本体より出ている3ピンコネクタケーブルをファンコン等に接続して下さい。

また、ご使用のケースファン等をインテリジェントファンコネクタに接続して下さい。

※ファンコン等に接続することにより、ファンの回転数のモニタリングが可能ですが、回転数調整は行えませんのでご注意下さい。



インテリジェントファンコネクタ

ケーブル接続及びパソコン起動

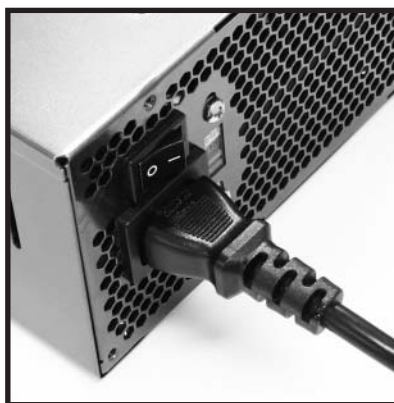
ケーブル接続

端子の形状、向きを確認の上、電源ケーブルを奥までしっかり挿し込んで下さい。

接続が不完全ですと、パソコンが起動しなかったり、機器が破損する恐れがあります。

パソコン起動

電源ケーブルの接続が完了したら、再度コネクタ類の接続を確認し、電源ユニット背面のパワースイッチを「ON」に切り替えてから、パソコンケースのパワースイッチを押し、パソコンを起動させて下さい。



OFFの状態

